

## “塚崎直樹先生の著書「虹の断片」のご紹介”

### 『考えを深める本』

当会、理事の塚崎直樹先生が虹の断片—精神科臨床医、四八年の経験からを出版。

「塚崎直樹さんは体験派である。素の体験から考える人である。本を読んだり話を聞いても、そこで述べられている考え方や理屈よりも、語り・書いている人自身に触れ合おうとする。

その種の人は医師を含めた医療者の中に多い。ことに精神科医の中に体験派の人が多い。  
素の自分として、素の人としての患者に関わる姿勢が要請される場面が、少なくないからである。

その塚崎さんが生身で格闘した「事態や文章」との体験が8つの記録として纏められた。

塚崎さんの素の体験の記憶に残された「虹の断片」に触ることは、読者に特別の広がりをもたらすとボクは思う。

それは素の体験が極端に希薄化してしまっている現在社会への気づき・意識化である。」  
—神田橋條治氏(精神科医)が著書の帯に書かれています。

当会、事務所にて販売しておりますので、皆さん是非、ご購読ください。

### 1. 販売価格

定価 2,750 円(消費税含む)

→2,500 円(消費税割引)

### 虹の断片

精神科臨床医  
四八年の経験から

塚崎直樹



（本文は著者の意図するところではありません。）

塚崎直樹さんは体験派である。素の体験から考える人である。  
塚崎さんの素の体験の記憶に残された「虹の断片」に触ることは、  
読者に特別の広がりをもたらすとボクは思う。  
それは素の体験が極端に希薄化してしまっている  
現在社会への気づき・意識化である。 — 神田橋條治 (精神科医)

